

大型台風接近時や大雨等に備えての 自主避難場所について

with
コロナ

参考

宝塚市「防災のページ」
<http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/1013056/index.html>
スマートフォンは右のQRコード→



気象庁 e ラーニング
「大雨の時どう逃げる？」
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jmael/dounigeru.html?fbclid=IwAR1SfCr6O9QJefksYhBzqXB8G7ZxEaMcX9adyztCyk4eECqKZ_5MeAV_Ltg



自主避難場所とは

特に大型で勢力の強い台風の接近時や、大雨警報等の発表時に洪水や土砂災害の発生が懸念される場合に、早めの避難を希望される市民の受け入れ体制として、**避難勧告等の発令に伴う指定避難所の開設とは別に、自主避難者を受け入れるために開設される施設**のことです。

避難するときは

防災マップで、自宅のハザード(危険情報)を把握し、土砂災害や浸水対策、避難ルートの確認をしましょう。

安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。

川の近く、低地、斜面といった危険な場所でないマンションなど頑丈な建物で、浸水などのおそれがない高い階のような安全な場所にいる人は、**在宅避難**の検討をしましょう。

在宅避難を選択する人も停電、断水などのおそれがあるため、水、食料、懐中電灯、電池式ラジオ、携帯電話の充電、カセットコンロなどを備えておきましょう。

分散避難

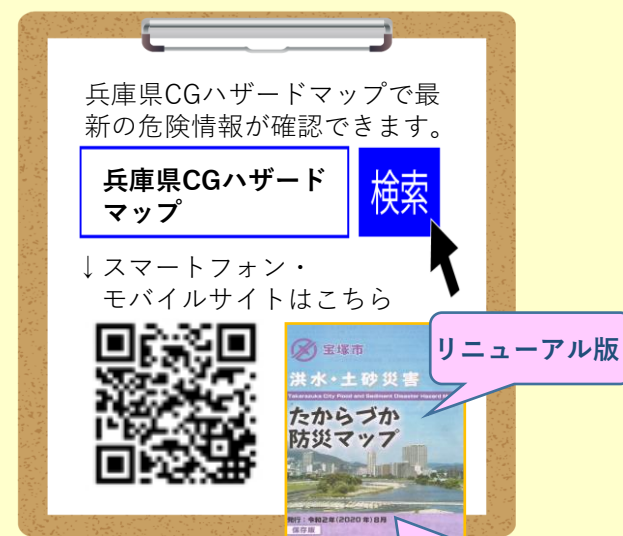
新型コロナウイルス感染症が蔓延しています。感染症が落ち着くまで、避難先を安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。大雨予報の時は、早めに避難しておきましょう。豪雨時の屋外の移動は、車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。

避難時に持参するもの

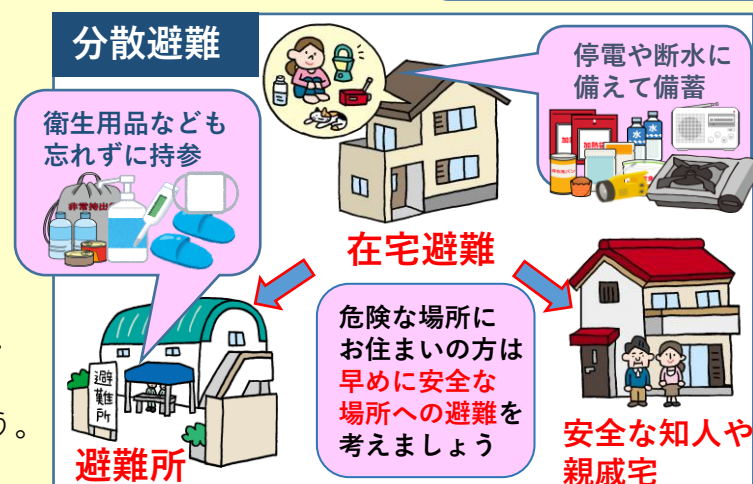
食料、水、医薬品、おむつなどに加え、**マスク、消毒液、体温計、手洗い用せっけん等衛生用品とスリッパは、自ら携行**してください。

避難が困難な場合には

少しでも命が助かる可能性が高い避難行動として、室内のより安全な場所へ移動してください。
(例えば、自宅が2階建の建物なら、2階の山側と反対側の部屋へ移動すると安全なことがあります)



たからづか防災マップは市役所やサービスステーションに置いてあります



	住民がとるべき行動	行動を促す情報	発表主体
1	防災気象情報等注意到意し、災害への心構えを高める	警報級の可能性	気象庁
2	避難経路、ハザードマップ、避難情報の確認など、避難に備え自らの避難行動を確認する。	注意報	
3	避難に時間のかかる高齢者等の要配慮者は立退き避難し、その他の住民は避難の準備をして自主避難する。	避難準備・高齢者等避難開始	市町村
4	災害が発生する恐れが極めて高い状況等で、近隣の安全な場所への避難や建物内の垂直避難をする。	避難勧告、避難指示(緊急)	
5	既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をする。	災害発生情報	

▲宝塚市HP「5段階の警戒レベルを用いた避難情報の発令」より引用

自主避難場所の開設場所

市内の小・中学校で、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域等に当てはまらない場所（7か所）が開設します。

- ・光明小学校
- ・宝塚第一小学校
- ・宝塚小学校
- ・安倉小学校
- ・長尾南小学校
- ・中山五月台中学校
- ・西谷小学校

発熱等、風邪症状のある方の避難について

発熱等、風邪症状のある方を一般と分けるために、専用の避難所が中央公民館に開設されます。ただし、個人の判断で直接中央公民館に避難することはできません。

※発熱等、風邪症状があり、避難しなければならない状況の方は、市災害対策本部（0797-71-1141）に連絡の上、指示に従い避難してください。

開設の周知

自主避難場所を開設する場合は、宝塚市「安心メール」（ひょうご防災ネット）ホームページ、テレビのデータ放送（NHKのdボタンで閲覧可）等でお知らせされます。

- (1)台風や大雨の影響ができるだけ少ない段階（台風の場合は最接近の概ね12時間前）とします。
- (2)夜間の避難行動は危険を伴う恐れがあるため、原則として18時以降からの開設は行いません。
- (3)平日の開設は、開設対象校の授業に影響のない放課後からの開設とします。
- (4)原則として各学校の体育館を避難場所としますが、避難者が少ない場合はコミュニティルームなどの部屋とする場合があります。

避難所で守っていただくこと

避難場所では感染症予防のため、体温を測定し、マスクを着用していただき会話は控えていただきます。他の避難者との交流はしないでください。また、手洗いを徹底してください。多くの人が接触するドアノブ、手すりなどに触れた手で、手洗いせず顔に触れることは控えましょう。体調が悪くなった人は申し出てください。

